

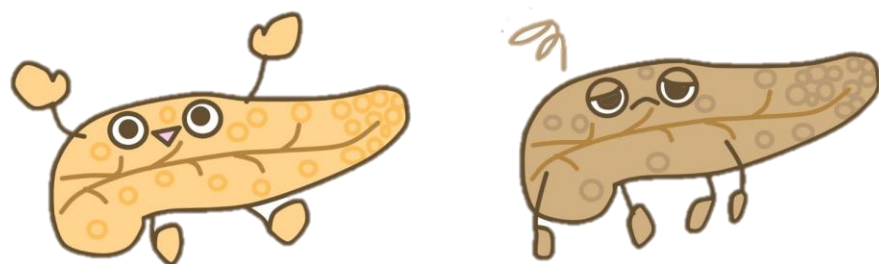
糖尿病対策専門部会の設置について

■ 設置目的

- ・ 高齢化が進む中で生活習慣と社会環境の変化に伴う糖尿病患者数の増加が課題となっている。糖尿病は血糖値のコントロール不良に伴い合併症を引き起こし、患者のQOLを著しく低下させるのみならず、医療費の観点から社会的に大きな負担となるため、一次予防から重症化予防に向けた検討を行うとともに、それらの取組の進捗管理を行う。
- ・ 医療機関、行政機関、コメディカル等が連携を図り、アプローチすることで、市民自身が主体的に予防や治療に取り組むための方策について検討する。

■ 専門部会構成委員

- 1 小牧市民病院 糖尿病内分泌内科 医師
- 2 小牧市医師会 医師
- 3 春日井保健所 総務企画課 保健師
- 4 市民活動団体 co-YOBOH
- 5 全国健康保険協会 愛知支部 （兼審議会委員）
- 6 公募委員



■ 取組概要

- 1 専門部会開催回数・・・7月、9月、1月予定
- 2 検討内容

- ◎市民への糖尿病に関する知識の普及啓発について
- ◎健診受診による早期発見、また、健診後の精密検査や適切な受療による早期治療の開始について
- 糖尿病重症化予防に向けた取組について

※初年度においては優先的に◎を検討していく。次年度以降○について検討予定

■ 市民のあるべき姿 （小牧市健康づくり推進プランより）

- ・ 生活習慣病に対する正しい知識を持っている
- ・ 自分の健康状態を知り、生活習慣病の予防に努めている
- ・ （ハイリスク者）継続的に生活習慣の改善と治療によるコントロールに取り組んでいる

■ 糖尿病を重症化させないためには何が必要と考えるか

（令和3年度市内医療機関に実施した「糖尿病重症化予防のための連携に関するアンケート」より）

- ・ 回答した医療機関 30件中
 - 「患者自身の病識の充足」29件
 - 「健康診断のフィードバックの充足」20件
 - 「多職種との連携」14件
 - 「他医療機関との連携」14件
 - 「市主催の重症化予防事業との連携」15件
 - 「その他」（定期通院）1件